

民主島根

2022年
1.2
第1398号

発行所 松江市袖師町3-6 TEL 0852-24-2444
日本共産党島根県委員会 FAX 0852-24-6369

党創立100周年を躍進で にひ前参院議員勝利と政権交代の足がかりを

国民要求で岸田政権包囲を

安倍・菅政治を継承した岸田政権は、安倍・菅政権でもできなかったような新しい危険に足を踏み出しつつあります。敵基地攻撃能力の保有と同時に、9条改憲への前倒りの姿勢を露わにしています。「新しい資本主義」の実態は弱肉強食の「新自由主義の継続・強化」であり、沖縄・辺野古新基地建設を押し付け、「森友・加計・桜を見る会」疑惑の究明にも後ろ向きなままです。

今年7月には参議院選挙が行われ、総選挙の雪辱を果たすチャンスが巡ってきます。参議院選挙では必ずや反転攻勢に転じ、党創立100周年を日本共産党の躍進で祝えるよう全力を挙げます。



憲法が生きる日本を 前参議院議員 仁比聡平

つてきました。あなたはどうな日本にしたいですか？ みんなを代表して、きちんと話し合い、最良の道を見いだす——それが本来の国会です。コロナ危機でも現場や専門家の

参院選勝利へまい進

元衆議院議員 大平喜信



昨年開催されたCOP26。気候変動による海面上昇で国の存亡がかかる太平洋の島しょ国からの警告を「経済成長も大事」とともに聞かない先進国の態度に、「気候

つ、500人を選ぶ選挙です。私を含む共産党の5議席絶対確保の先頭に立ち、なんとしても勝ちぬきます。もう一度、国会で働かせてください。プロフィール 1963年生まれ。2004年、13年の参院選(比例)で当選。19年参院選(比例)では及ばず。現在、党中央委員、弁護士。

「水の恐怖から一刻も早く逃れたい」——この4年間で3度水害に遭った江の川流域に住む皆さんから命の危険を含むリアルな不安を伺いました。

「国会議員は人間だけの代弁者ではない。大地の叫び、山、川、海の訴え、国土その代弁者であれ」とは敬愛する小松泰信岡山大学名誉教授の弁。この要請に全力で応える一年に。元旦、まずは山登りへ。参院選勝利へまい進します。

謹賀新年



昨年、国の重要文化財に指定され、日本一の高さ(44m)を誇る日御碕灯台(出雲市)

党議席確保必ず

今年は3つの議員選挙

今年4月に大田市議選と津和野町議選、5月に江津市議選が行われます。4月の大田市議選(定数18・2減)には現職の亀谷優子氏、新人の宮脇康郎氏が挑みます。大津和野町議選(定数12)には現職の寺戸昌子氏が3期目に挑戦しま

5月の江津市議選(定数16)には、現職の森川佳英、多田伸治の両氏が4期目に挑みます。



日本共産党演説会

2022年1月23日(日)

●午前10時30分～江津・地場産業振興センター

●午後2時～大田・あすてらすホール

弁士: 笠井亮衆議院議員、にひそうへい前参院議員

(市議予定候補もお話します)

鼓動

「去年今年貫く棒の如きもの」——あらたまの年の足音が聞こえるこの時節、決まって口をついて出る虚子の句。この句を覚えてくれたのは今は亡き母だった。鮮明に残るのは、小学生の頃、年の瀬の台所。当時母は教職にあり、落ち着いて話せるのは、帰宅後すぐ台所に立つ母の傍らで夕飯の支度を手伝う時間。この句はそんな母との記憶と共にある▼虚子といえ、同郷の子規を師と仰ぎ、「花鳥諷詠」を理念とする客観写生を提唱したことで知られる。しかし、この句は観念的その文学史的意義にそぐわぬためか、授業で教わった記憶はない。よって私はこの句を自ら置かれた年々の状況の中で解釈してきた▼ある時はその季語「去年今年」により新年を寿ぐ句として。また苦悩の中にあつては、時間をどう区切ろうと、対峙すべき課題は変わらぬそこにあることへの覚悟を詠んだものとして。そして今でも、あの日この句を口にした母の心中に思いを馳せるのだ▼虚子は晩年の作であるこの句に決意を込めた。変わりゆく時代の中で新たに提唱される俳句観と対立し、さらには二つの大戦という激動を生き抜いて、なお変わらぬ俳句道への自らの「信念」を、全き「棒」に喩えて▼こうして新年を迎える今、虚子の「棒」の如き信念を思うと同時に、「己の貫くべきは何か」と問うている自分がいる。価値観が大きく揺さぶられたコロナ禍。そこに意義があったとすれば、自らの内にこの問いを得たことと言えよう。真摯にその答えを辿る新たな一歩を踏み出したい。「春風や闘志抱きて丘に立つ」——虚子はこの句も残している。(江)